

評価シート①

大項目「教育委員会の活動状況」

中項目	点検内容	活動 指標	21年 度	22年 度	比較増 減	自己評価結果
(1)教育委員会の 構成	①構成数	人	5	5	0	適正な規模を維持している。
	②年齢別	歳	55.2	55.0	△ 0.2	(各年度12月23日現在)
	③性別	男女 比率 (%)	40	40	0	適正な規模を維持している。
(2)教育委員会会 議の開催状況	①会議開催数	回	23	29	6	教育委員会会議規則では、毎月22日に定例会を開催する旨の規定をしており、最低でも月1回(年12回)の開催が義務付けられている。 開催数としては問題ない。
	②延出席数(教育長除く)	人	92	113	21	1回あたりの平均出席はH21 4人 ⇒ H22 3.9人 となっているが、欠席としては、前期教育委員会の勉強会(視察)において、市常任委員会開催日程と重複したことによる欠席が1件、体調不良による欠席が1件、臨時会(委員長選任)の際に、前委員の出席辞退による欠席が1件であり、いずれもやむを得ない理由であり、問題はない。
	③教育委員会開催における 運営上の工夫				0	平成20年度から、説明に時間を要する案件については、できる限り資料の事前送付を行い、活発な議論となることに努めているところである。 平成22年度については、昨年度に引き続き、前期教育委員会の内容を、テーマを持った勉強会の位置づけとし、委員の資質向上に努めた。
(3)教育委員会会 議の情報公開の状 況	①会議傍聴数	人	0	0	0	より見やすいHPの構成を工夫するなど、さらなる努力が必要である。
	②議事録等の公表状況	件	12	12	0	定例教育委員会の議事録については、全てHPでの公表を行った。 情報公開請求については行われなかったものの、会議の運営上の工夫と重なる部分はあるが、平成22年度から、議事要録の確認時期・確認方法を明らかにし、事務の滞りによる議事要録のHPへの掲載漏れ等が生じない体制とした。

評価シート①

中項目	点検内容	活動 指標	21年 度	22年 度	比較増 減	自己評価結果
(4)行政等が主催する行事への出席数(教育長除く)	①参加回数	回	134	131	△ 3	行政等が主催する行事に対して、出席努力・自主判断の区分をしている。前年度から3回の小規模な減であり、活動量としては、昨年度とほぼ同様であると評価できるため、その職責を果たしていると評価できる。
(5)議会出席状況	①議会の出席状況(教育長除く)	回	39	35	△ 4	全ての議会に出席している。また、教育委員長だけでなく、教育委員全てがまんべんなく出席し、市民代表としての議員各位の考え方に接し、教育行政について考える機会としており、今後も継続していくものとする。
(6)首長との連携	①意見交換会の状況	人	4	4	0	平成22年11月15日に意見交換会を開催し、教育委員全員の参加となった。今後も継続して機会設定を行い、教育委員会の考え方を首長に伝えることが重要である。
(7)教育委員の自己研鑽	①研修会等への参加状況	回	82	69	△ 13	研修に関し、出席努力・自主判断の区分をしている。自主判断による研修への参加回数は、平成21年度が70回であったのに対し、平成22年度が61回となり、9回の減となった。活動指標である研修会等への参加状況については減少となった。しかしながら、前期教育委員会としての活動であるが、近年のICT活用能力の向上をテーマとした視察研修に参加するなど、集中と選択により、時宜に即したテーマの研修を行い自己研鑽に努めた。
(8)学校訪問	①学校訪問(A) 訪問率	%	95.0	98.2	3.2	学校訪問(A)については、出席努力と定めたことに伴い、殆ど欠席がない状況であった。
(9)教育に関連する外部団体等との意見交換	①意見交換等回数	回	37	20	△ 17	減の理由としては、昨年度まで教育委員長が、長崎県市町村教育委員会連絡協議会の会長職であったため、その役職としての意見交換が11件あったが、これが皆減となったことが大きな要因である。概観すると、自己研鑽の意味も含め、積極的な活動を行った。